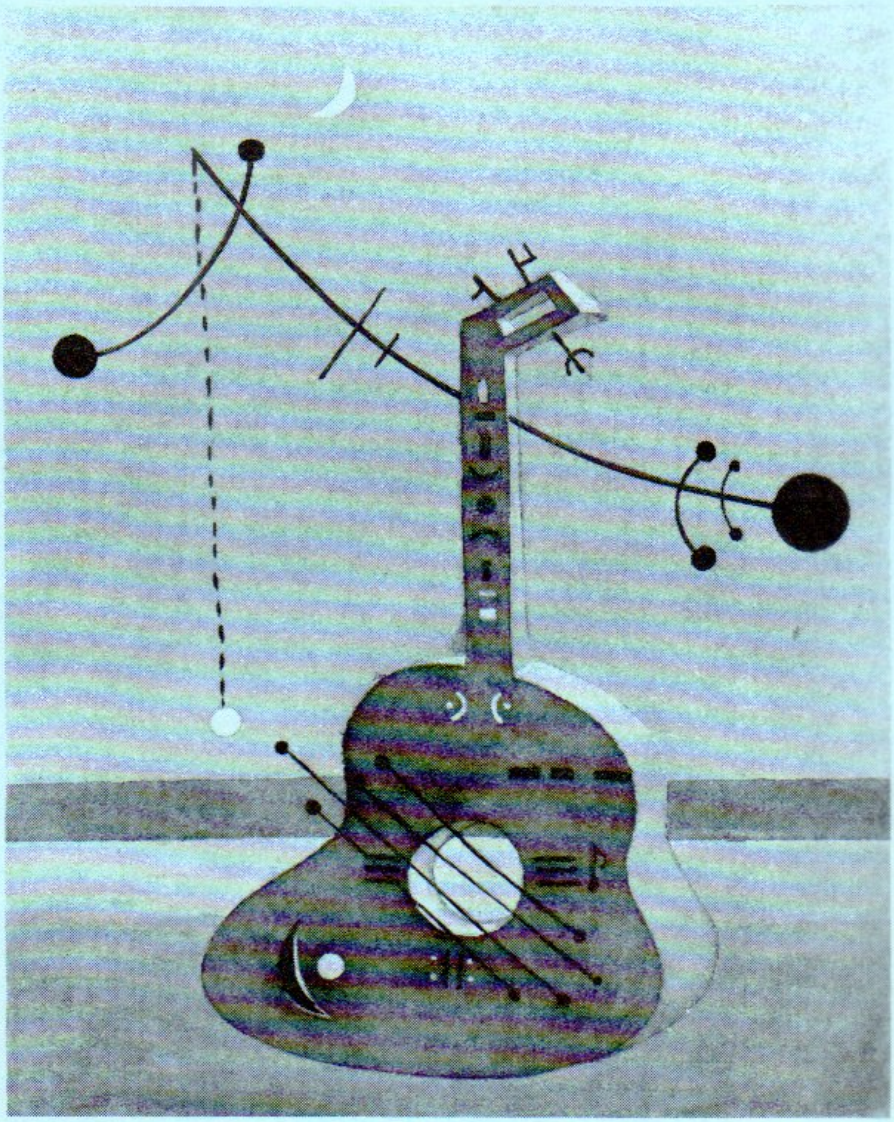
第29回 県民コンサート

――ギタリスタス・デ・オキナワ――

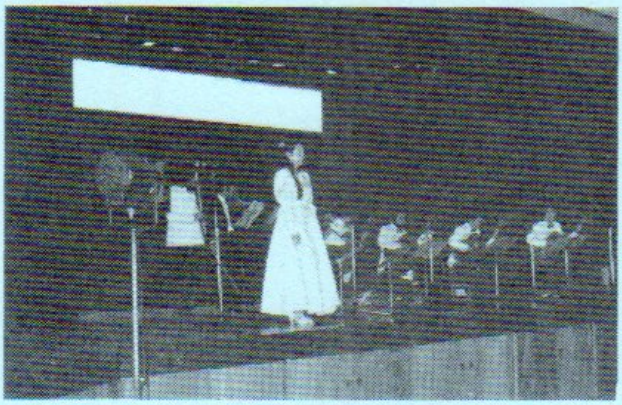


と　き：平成２年11月16日㈮ 開場：6時 開演：7時

ところ：北大東村離島振興総合センター

主催：沖縄県・北大東村教育委員会

ギタリスタス・デ・オキナワ
これまでの演奏会から



第19回県民コンサート「恩納村」

第20回県民コンサート「竹富町（波照間）」

第24回県民コンサート「知念村（久高島）」

「知念村（久高島）」

第27回県民コンサート「宜野座村」

ギターの夕べ「沖縄市民会館」

ギタリスタス・デ・オキナワ

「ギタリスタス・デ・オキナワ」は「沖縄のギター演奏家たち」という意味です。日頃、第一線で活躍している演奏家によって組織され、沖縄県の音楽文化への貢献をねらいとしています。ギター演奏はもとより、各種講習や指導、市民サークルの育成等も行っております。

ごあいさつ

沖縄県知事
西　銘　順　治

第29回県民コンサートを開催するに当たり、ごあいさつを申し上げます。近年、飛躍的に発展した経済社会の中で、人々の価値観は自由で個性的な生き方や多様な選択を求める方向に変化しつつあります。各人が人間らしい生活の実現を目指し、ゆとりと潤いを一層求めるようになってきています。このような中で、文化の振興は充実した生活の基盤となるものであり、その役割はますます重要さを増しています。

県においては、豊かな県民文化の創造、育成を図りつつ、潤いと活力のある郷土づくりのため、文化振興事業を積極的に推進しているところでありますが、県民コンサートもその一環として催されるもので、県民に優れた音楽を鑑賞する機会を提供し、心豊かな県民性のかん養に資するとともに、県内音楽団体の活動を支援することを目的としています。

今回、演奏していただく「ギタリスタス・デ・オキナワ」は、ギターの専門家、愛好家の育成及びギター音楽の向上を目的として結成された県内唯一のギター楽団で、その高度な技量は県内外で高い評価を受けています。

この磨き抜かれたギターの調べは、皆様方をすばらしい音楽の世界へお誘いするものと思います。このたびの演奏会が契機となって地域の文化活動がますます活発になり、向上していくことを期待してやみません。

平成２年11月16日

ごあいさつ

北大東村教育委員会
教育長　沖　山　　昇

「第29回県民コンサート北大東公演」が、当地で開催される運びとなり、誠に喜びに堪えません。

この度の公演を企画していただきました県観光文化局の御高配に心から敬意と感謝を申し上げます。

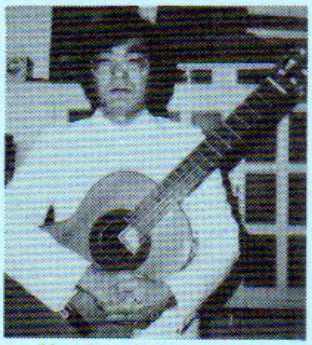
この県民コンサートは、「日ごろ音楽鑑賞の機会の少ない地域の人々に対し、すぐれた音楽を鑑賞する機会を提供し、豊かな創造性と情操のかん養に役立てるとともに、音楽の理解を深め、音楽文化の向上発展に寄与する」ことを目的として、開催されるものであります。

人間の生活の中には、音楽ほど心の奥底に溶け込んで健康の喜びと励ましを与えてくれるものはありません。マスメディアが発達している今日、電波を通しての音楽鑑賞は容易に茶の間でもできますが、生の演奏会となるとなかなかそうはいきません。とりわけ、離島のハンディーをかかえている当村にとってはなおさらであります。ぜひこのきかいを通して音楽文化への御関心を深められ、活力と潤いに満ちた文化の薫り高い村づくりにまい進して下さるようお願い申し上げます。

今回の「ギタリスタス・デ・オキナワ」の出演者の皆さんは、九州地区におけるギターコンクールで優秀な実績をもつ方々であります。県民の音楽への理解を深め、音楽文化の振興に寄与しておられることに対し、衷心から感謝申し上げるとともに、「ギタリスタス・デ・オキナワ」がますます御精進、御発展されるよう祈念申し上げて、ごあいさつといたします。

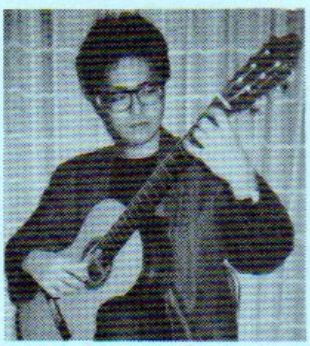
平成２年11月16日

メンバー紹介



牧野哲仁（ギタリスタス・デ・オキナワ代表）
浦添市経塚560番地　　経塚市街地住宅611号
TEL0988－78－9681
昭和28年生。昭和52年九州ギター音楽コンクールに沖縄から初めて参加し3位入賞。昭和52年と昭和57年にソロリサイタルの他、数多くの演奏会に出演。

松田弘二
北谷町字吉原68番地
TEL09893－6－3688
昭和55年と58年にリサイタル。沖縄市でライブハウスを主宰。クラシック、ジャズ、民謡をこなす。テレビ・ラジオ等の音楽も書く。最近は照屋林助氏のバンドで活躍。



上原　章
浦添市港川2－5－2
古波蔵マンション201号
TEL0988－76－8330
昭和32年生。昭和57年九州ギター音楽コンクールに沖縄から初の1位入賞。数々の演奏会に出席。本間良博氏に師事。

石川栄尚
那覇市首里山川町1丁目137番地
福建アパート
フラメンコに心酔。ライブハウスで活躍。高田建造氏に師事。

新田宗彦
豊見城村字高安629－1
昭和25年生。昭和56年にリサイタル、クラシックとフラメンコの両方をこなし、ライブハウスなどでも活躍。鈴木巌氏に師事。現代ギター音楽協会沖縄支部長を務める。

〈ゲスト〉
古謝美佐子
民謡界で活躍。「スーシ・スーサ」は彼女のオリジナル。最近は坂本隆一のバンドと共演、この11月末からヨーロッパ公演に立つ。

プログラム

第1部

ギター独奏

上原　章

- ●カプリス …… L・レニアーニ
- ●アストリアス …… I・アルベニス

牧野哲仁

- ●スペインセレナーデ …… F・マラッツ
- ●モーツァルトの魔笛の変奏曲 …… F・ソル

新田宗彦

- ●ロマンス …… A・ルビラ
- ●アルハンブラの想い出 …… F・タルレガ

松田弘二

- ●メロディアオキナワ …… 松田弘二　編曲

石川栄尚

- ●ファンタジアフラメンカ …… 石川栄尚　編曲

プログラム

第2部

沖縄民謡とギターの競演

特別出演　古謝美佐子（歌・三味線）

活躍めざましい民謡界のホープ古謝美佐子の歌を松田弘二のギター伴奏にのせてお贈りいたします。

ギター二重奏

- ●ルンバ・フラメンカ …… スペイン民謡 / 石川栄尚　編曲
- ●コンドルは飛んでいく …… アンデス民謡 / 石川栄尚　編曲
- ●タンゴ・フラメンカ …… スペイン民謡 / 石川栄尚　編曲

ギター合奏

- ●レトルナンド …… C・ラフェリス / 牧野哲仁　編曲
- ●ホタ・アラゴネーサ …… A・カーノ / 牧野哲仁　編曲
- ●星の涙 …… A・カリーリョ / 牧野哲仁　編曲

北大東村民歌

作詞・新里恒彦
作曲・普久原恒男

一、大平洋の　ただなかに
さんごの台地　位置占めて
青葉若葉の　風そよぐ
朝うるわしく　明け染めて
ひらくふるさと　北大東

二、江崎の港　波青く
黄金の山の　燈台は
島に五穀の　幸を呼ぶ
機械化農業　たくましく
すすむふるさと　北大東

三、北空港も　誇らしく
文明文化　花咲きて
キビも夕陽に　照り映える
団結融和の　声高く
伸びるふるさと　北大東

曲　目　解　説

＊アストリアス（Ｉ・アルベニス）

アルベニスは1860年に生まれたピアニスト・作曲家。この曲は別名「伝説」とも呼ばれている。本来はピアノ曲として作曲されたが、この曲のスペイン的な情緒を表現するにはギターの方が優れておりギターで弾かれる方が多い。

＊モーツァルトの魔笛の演奏曲（Ｆ・ソル）

ソルは1778年スペインに生まれたギタリスト・作曲家。後にイギリス、フランスで活躍した。オペラを含めあらゆるジャンルの曲を作曲したがギターに対する愛着はことのほか強くギター曲だけに作品番号を付した。この曲はギター古典を代表する傑作である。

＊アルハンブラの思い出（Ｆ・タルレガ）

ギターの名曲中の名曲。タルレガは1852年スペインに生まれたギタリスト・作曲家。トレモロとよばれる特殊技巧で弾かれるメロディーはまさにギターの神髄を発揮しアルハンブラ宮殿の栄華盛衰を表現する。この曲にあこがれてギターを弾き始めた人も多い。

＊コンドルは飛んでいく（アンデス民謡）

もうすでに有名になったこの曲は、アンデスの人々に歌いつがれてきた民謡であった。世界中に楽団によってさまざまに演奏されているが、今日はギターの二重奏でお聞きください。

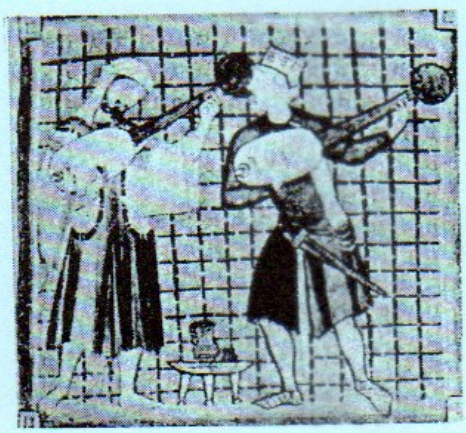
＊ホタ・アラゴネーサ（Ａ・カーノ）

カーノは1811年スペインに生まれたギタリスト・作曲家・医師。ホタというのはスペインのアラゴン地方の人々に最も愛されている音楽で歌うためのホタと踊るためのホタがある。この曲は、ホラそしてアラゴンの人々を敬愛して作曲されている。

ギターの歴史

ギターはギリシャ語のキタラや、アラビア語のキターラをへてギターと呼ばれるようになった。とても歴史の古い楽器でメソポタミアの壁画やエジプトの壁画にその原型が描かれている。沖縄の三味線や日本の琵琶は同系の楽器である。初めの頃は歌や踊りの伴奏、他の楽器との合奏に使われていたことがわかっており、1546年にスペインのA・ムダーラが刊行した曲集が最初の独奏曲として残っている。その後次々にギター曲が刊行され、1650年ころまで第一次黄金期を迎える。サンス、ロンカルリ、ド・ビゼーといった人達が典雅な名曲を数多く残している。この頃のギターは4弦であるがしだいに弦を増やし、18世紀後半頃6弦目が加えられギターの第二次黄金期に入る。スペイン、フランス、イタリアなどで優れたギタリストが誕生し輝く伝統を築いた。レニアーニ、ソル、ジュリアーニなどそれぞれの手法で多彩なギター曲を残した。19世紀になってギターは一時下火になっていたが、1852年タルレガの誕生によって再び隆盛をむかえリョベート、セゴビア、ジュリアン・ブリームなどを輩出し、今日に至る。

日本には鎌倉時代ののちオランダよりリュート（ギター属の仲間）が入ってきたがキリシタン禁止令のため広まらなかった。狩野派による日本画が残されている。明治時代になって武井男爵がイタリアより学びマンドリンと共にギターの普及に尽力した。ギターの甘く柔らかな音色はたちまちのうちに受け入れられ広まっていった。



沖縄において本格的なギターが紹介されたのは戦後のことである。宮里茂、島田桂昌、古堅義雄、親富祖徳盛らがコンサートを催しギターの普及に貢献した。

〔これまでの県民コンサート〕

第1回県民コンサート	「沖縄交響楽団」	昭和55年10月16日	那覇市民会館
第2回県民コンサート	「ランタナ合奏団」	昭和56年6月26日	伊平屋中学校体育館
		6月27日	伊是名村離島振興総合センター
第3回県民コンサート	「沖縄交響楽団」	昭和56年8月8日	登野城小学校体育館
		8月9日	平良市民会館
第4回県民コンサート	声　　楽	昭和56年12月22日	金武公会堂
第5回県民コンサート	「沖縄交響楽団」	昭和57年8月14日	名護商業高校体育館
		8月15日	久米島高校体育館
第6回県民コンサート	「ランタナ合奏団」	昭和58年3月13日	座間味村離島総合センター
第7回県民コンサート	「沖縄交響楽団」	昭和59年1月21日	本　部　町
		1月22日	今帰仁村
第8回県民コンサート	「ランタナ合奏団」	昭和59年2月25日	粟国小中学校体育館
第9回県民コンサート	「沖縄交響楽団」	昭和59年9月29日	宮古高等学校伊良部分校体育館
		9月30日	平良第一小学校体育館
第10回県民コンサート	「沖縄音楽文化協会」	昭和60年2月13日	東村農民研修施設
第11回県民コンサート	「ランタナ合奏団」	昭和60年2月16日	多良間小学校体育館
第12回県民コンサート	「沖縄交響楽団」	昭和60年11月3日	座間味小学校体育館
		11月4日	渡嘉敷村中央公民館
第13回県民コンサート	「ランタナ合奏団」	昭和60年11月23日	南大東離島振興総合センター
		昭和61年2月1日	勝連町・津堅小中学校体育館
第14回県民コンサート	「沖縄オペラアンサンブル」	昭和61年2月15日	嘉手納町民体育館
第15回県民コンサート	「沖縄音楽文化協会」	昭和61年3月6日	伊江村農村環境改善センター
第16回県民コンサート	「沖縄交響楽団」	昭和61年9月6日	伊江中学校体育館
		11月2日	金武町立中央公民館
第17回県民コンサート	「沖縄音楽文化協会」	昭和61年11月25日	竹富町西表島離島総合センター
		11月26日	小浜小中学校体育館
第18回県民コンサート	「沖縄オペラアンサンブル」	昭和62年1月10日	豊見城村立中央公民館
第19回県民コンサート	「ギタリスタス・デ・オキナワ」	昭和62年2月19日	恩納村コミュニティーセンター
第20回県民コンサート	「ギタリスタス・デ・オキナワ」	昭和62年6月17日	波照間中学校体育館
第21回県民コンサート	「沖縄交響楽団」（第42回国民体育大会スポーツ芸術）		
		昭和62年10月26日	那覇市民会館
第22回県民コンサート	「沖縄音楽文化協会」	昭和63年2月10日	勝連町・比嘉小学校体育館
第23回県民コンサート	「沖縄オペラアンサンブル」	昭和63年3月12日	石垣市民会館
第24回県民コンサート	「ギタリスタス・デ・オキナワ」	昭和63年10月20日	久高小中学校体育館
第25回県民コンサート	「沖縄交響楽団」、「沖縄オペラアンサンブル」		
		平成元年2月25日	名護市民会館
第26回県民コンサート	「沖縄ソリステン」	平成元年7月11日	渡名喜村老人福祉センター
第27回県民コンサート	「ギタリスタス・デ・オキナワ」	平成元年10月25日	宜野座村中央公民館
第28回県民コンサート	「沖縄交響楽団」	平成2年2月4日	嘉手納町民会館

☆〜☆〜☆〜☆☆〜☆〜☆〜☆☆〜☆〜☆〜☆☆〜☆〜☆〜☆☆〜☆〜☆〜☆☆〜☆〜☆〜☆☆〜☆

〈メ　モ〉